

# 寺報

龍正寺

日なた 147号



<令和 2年 8月>

宝龍会  
護持会

# 令和2年施餓鬼大法要

令和2年7月12日(日)



幡・水・香のお供えをしています。



蓮が元気に育っています。  
今年は蓮の葉を使用してお供えしました。



# 任職一言(御遺文より)

新型コロナウイルス禍が拡大しています、充分気を付けて下さい。

日蓮大聖人御遺文より

『中興入道消息ニ云』

『丈六の卒塔婆を立てて、その<sup>表</sup>面に南無妙法蓮華經の七字を<sup>あ</sup>顯はして  
おはしませば、北風吹けば南海の魚族其風に当りて大海の苦を離れ、東風  
吹けば、西山の鳥鹿其風を身にふれて、畜生道を<sup>の</sup>脱れて、都卒の内院に生れぬ  
況や彼の卒塔婆に<sup>お</sup>隨喜をなし、手をふれ、眼に見まはらせ候、人類をや過去の  
父母彼の卒塔婆の功徳によりて、天の日月の如く、浄土をてらし、孝養の人。茲かに  
妻子は現世には、壽を百二十年持ちて、後生には父母とともに靈山の浄土にま  
り給はし事、永澄めば月うつり、鼓を打てば、此代きのあるがごとしおぼしめし候』

(解説) 一丈六尺の大卒塔婆を造り、その表に南無妙法蓮華經の七字を書  
いて建立したが、この卒塔婆に北風が吹けば、南の海の魚類がその妙法七字の風に  
吹かれて大海の苦惱から離脱し、東風が吹く時は、西の山に栖む鳥や鹿が、その風  
を身に触れることによりて畜生道をのがれて、都卒天の内院即ち天上界に生れることが  
出来るのである。まして卒塔婆を直接に見て喜んで手に触れ、眼に見る人衆は計り知れない  
功徳を得ることが出来るのである。

故次郎入道夫妻、即ち云々御両親の要も彼の卒塔婆を建てられた功徳に依って、天の

日や月のように浄土を照すことができる。又この追善をなして孝養をつくす人や、その妻子は、現世には百二十年の長寿を保ち、後生には、追善の功德によって墮獄の亡父を救い、疑いなく父母と一緒に靈山浄土に住居することが出来るのである。例へば「水が澄めば月影がうつり、鼓を打つと響のあるように起塔追善の功德は現世安穩に後生は善處に到らしめるものであるということを確認なするがよい。

日蓮大聖人は塔婆供養について書かれておられます。

8月は金月です。塔婆を建立して、御先祖様、祖父母、父母また水子の供養をいたしましょう。

皆様の御健勝、新型コロナウイルス感染症終息を祈念申し上げます。

南無妙法蓮華經

合掌

# 「雨曼陀羅華」

私の住む小牧市から龍正寺は約35kmの距離があります。車で走行するとちやうど1時間になります。数年前ではこの片道1時間は長く感じられました。今では...これだけでも5日以上は空けたりと自分で決めて参拝させて頂いています。

私は車で迎う道中に色々な事を考えます...  
仕事の事、会社の事、子供達の事、夫婦の事、  
そして自分自身の事...  
考えれば正しい結論は出たもののだけけれども...  
考えればもういいです。

「6月30日」この日...いつもの様に参拝に向かい。  
駐車場に到着すると「如来寿量品第16」の訓読が  
私の頭に入ってきました。  
そして車から降りて寺院に向かうと、ちやうど佐和さんが  
お出掛けする時の様子でした。  
少し遠い際に挨拶もさせず...龍正寺の扉を開け  
御堂前に着座した時にとても不思議な感覚に  
襲われました...

それは、まるで天井から細かい霧のミストの様な  
パワースポットを感じるマイクスイソンの様に私の身体に  
降りかかっているのか、ハッキリと感じられました...

「この癒える気持ちは何だろうか？」  
そう思いながら、私は駐車場で感じた寿命品を  
読経し始めました...

「われ佛を得て有り 二のかたもろもろの〜」  
と始り、中盤になると

「曼陀羅華を降らし、佛および衆に散ず」と  
あります。

私は自然と涙があふいて来ました...

この日、着座した時から感じ、天井から降って来る感覚は  
御堂前の頭上に掲げられている、あの曼陀羅華ではないのか?!  
とそう思いました。

まるで私の身体の皮膚の毛穴から中に浸透していくかの  
ような感覚でした。

とても貴重な体験をさせて戴きました。

先日、佐口上人との談話の中で上人曰

「求める者は人でなく、佛様である」

と教示に戴きました。

その言葉は私の心にグッと来るものがありました。  
と、佛様が、佐口上人の身体から私に教示された

言葉として受け止められました。

その学びと自身の精進に深く思っています。

## 神様は乗り越えられる試練しか与えない

「水は、湯・氷・雪へと変化する。」とあるセリフの一部ですが、変化するものである人も同じであると思いました。

今のこの時代変化すべき時に来ていると感じます。

昔の良き日本の生活(物を大事)に戻すべきと...

そのような事をお上人と話している時に別のテレビでスランプに陥っている主人公がある人に「君みたいな人いっぱい見てきたよ。己にこだわって才能を生かせない人」のこの言葉、己にこだわってという所が妙に引っかかり、ふと、思い返しました。

これは、自分の固定概念・自分の我でかんじがらめになっているのだなあと...

自分に置き換えた時、変化しなくてはいけない時に自分の我・固定概念から抜けだせない自分であると教えられたようでした。

その時、お上人より「逃げている。いつもおまえは大事な所で逃げる。理由をつけてな。自分で理由も言ってる。無意識だけだな」確かに難しい課題・目標がある。

昔に比べ、今は多分出来ているがそれでも「何やっても中途半端になってないか」「逃げずにユツユツやっていけば壁と思っていたものが、以外と低かったかと思う時が来る。

信じてやってみなさい」「これはお前の未来のため仏様が教えてくれたこと思われないか？」例祭日の朝に言われるとは...

「仕事では、自分自身が若い頃逃げていたから今となって重荷になってる。やっとやる気になってきているから「逃げて」にトライすること。逃げて違う場所でも違う問題がおきて不平不満となる。ならば「今ある場所で頑張らんか」

痛い所をつかれましたが、やるかやらないかは自分次第  
今が最後のチャンスと捉え壁を越える強い意志をもって日々努力中です。



## — 少しの思いやり —

長雨が続き、梅雨明けは8月になるようです。  
コロナも感染者が日に日に増え、心配も続きます。  
職場でも、出来る限りの感染予防を徹底しています。  
職場で使用する備品は、少なくなつて気が付いた  
人が専用のボードに記入する事になっています。先日、  
手洗い洗剤の在庫がなくなり、ボードに記入しなければ  
いけなくなりました。私は始め、このように記入  
しました。

手洗い洗剤(至急!!)

記入した後、ふとボードに目を向けると、何か違う  
なという気持ちにさせられ、書き直ししました。

手洗い洗剤(早めに♡)

ちがつたに違ひですが、相手には早く購入してほしい  
という事も伝わるし、命令されている感じがしないので  
気持ち良く買ってきてもらうことができます。

これを見てくれた担当ではない先生には、

「こういう風に書いてあると、『はい!! 買ってきて♡』って  
感じになるね!! 少しの違ひだけど、全然、違う感じ  
がある」

と言われました。

誰かに何かをお願ひする事は、日常にたくさんあります。お願ひされる側に立って考えてみると、ずいぶん分かる気がします。なかなかながら気が付かせてもらえない時もありますね。日頃から少し意識を向けていく事が大切だと思いました。

# 命を頂いて…

♡法華經に感謝♡

6月末主人が勤務中に胸の異変を感じ、自力で受診その後緊急入院になりました。

昨年の9月に大動脈瘤切除術、冠動脈、大動脈バイパス移植術をしました。

奇跡的に回復後、普通の生活に戻ることが出来ました。今でも関わって下さった医師の方にありえない様な良い出来事が続いたケースだったと言われます。

しかし、今回そのバイパスが完全につまってしまいました。そして、病院で…“今回はどの方法もリスクが高すぎて、まったく手が出せない状態です。”と言われました。

当時大変お世話になった外科医師にも“何とかしたいか…”“こんなに頑張ってきたもんな。”と言っておりました。

“あ～今回は本当に無理かも…”と大きな不安や絶望的な思いの中で、ふと気がつくと主人のベットのまわりには以前から主人の大病に関わって下さった医師の方々が、集中治療室集合されていました。何うと全くの偶然での事でした。驚きでした。

緊急事態の中でチームを組み、話し合いをされました。  
そして最大リスクの中での療法はカテーテルでの経皮的冠動脈形成術となりました。  
それは、遠方より、その形成術のスペシャリストの医師の方が  
病院へ来訪される事になっていたのも急ぎ、主人の治療  
して下さる事になりました。その偶然にもびっくりでした。  
そして最悪の場合は開胸手術へ変更する為、外科医師の方  
々も準備待機してして下さいました。

少しでも早くとの判断で開始は大半に前におしてはじめて下  
さいました。家族が病院がついた頃にはほぼ終わりかけて  
いました。

主人は大病で4回も命を救われている。よく「強運だね、  
何か持っているね。」と主人が言われる事があります。妻である私も  
「すごい人だね。」と思います。それは全て「法華経」のおかげ  
です。身を削りながら少しずつ法華経・御題目の恩恵を  
受けさせて頂いています。まだ完全に体力は戻っていませんが、  
子供、孫達に囲まれて「何か食べたい？」と料理をしている  
主人の姿に、龍正寺の全ての御神仏、佐口上人、甲斐市忠安寺

進藤日保上人。主人の病気の為に全力を注いで下さった  
医師・医療関係者の方々に御礼・感謝の気持ちで  
いっは。い。です。

この生かされた命を大切に人生を送ってほしいと思います。  
これからも夫婦で御題目を唱えていきたいと思ひます。  
そして、子供達、孫達が御題目を唱え続けていける様に  
精進したいと思ひます。

## < 8月の行事予定 >

8月 13日 (木) 10:00~ 宗祖日蓮大聖人報恩会  
18日 (火) 10:00~ { 鬼子母尊神  
七面大明神 ) 祈禱会  
松葉谷法難会

## < 8月住職の予定 >

寺院 = 法務

## < 8月の予定 >

8月6日(木)	各々の時間で	清掃. 準備
↓	↓	↓
12日(水)		
13日(木)	法要後	片付け. 準備
14日(金)	各々の時間で	清掃. 準備
↓	↓	↓
17日(月)		